

様式第 7 号（第 24 条、第 27 条関係）排水施設設置（使用、変更）届出書

排水施設設置（使用、変更）届出書			
松山市長		年 月 日	
殿			
		松山市〇〇町〇丁目〇ー〇 届出者 〇〇工業有限会社 代表取締役 〇〇 〇〇	
工場又は事業場の名称	〇〇工業有限会社	※ 整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地	松山市〇〇町〇丁目 〇ー〇	※受理年月日	年 月 日
排水施設の種類	2.亜鉛溶融めっき施設	※ 施 設 番 号	
△排水施設の構造	別紙 1 のとおり。	※ 審 査 結 果	
△排水施設の使用の方法	別紙 2 のとおり。	※ 備 考	
△汚水等の処理の方法	別紙 3 のとおり。		
△排出水の汚染状態及び量	別紙 4 のとおり。		
△用水及び排水の系統	別紙 5 のとおり。		

- 備考 1 排水施設の種類については、愛媛県公害防止条例施行規則（昭和 47 年愛媛県規則第 2 号）別表第 3 に掲げる番号及び名称を記載すること。
- 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させるものとする。
- 5 届出書及び別紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A4 とすること。

別紙 1

排水施設の構造

工場又は事業場における施設番号	A-1	
排水施設番号及び名称	2.亜鉛溶融めっき施設	
型 式	全自動バレル回転式 (××社製 (型番号))	
構 造	鉄製 内部を塩化ビニールライニング (構造図は別添○のとおり)	
主 要 寸 法	装置全体で 1m×5m×1.5m	
能 力	ねじ 5,000 個／日	
配 置	めっき工場棟 1 階 (配置は別添○のとおり)	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項	床面は厚さ 100mm のコンクリート 周囲には側溝を設け、流出を防止	

備考 配置の欄には、当該排水施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

別紙 2

排水施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		A-1			
排水施設番号及び名称		2.亜鉛溶融めっき施設			
設置場所		めっき工場棟1階 (配置は別添〇のとおり)			
操業の系統		別添〇のとおり			
使用時間間隔		連続(9時～17時)			
1日当たりの使用時間		8時間			
使用の季節的変動		なし			
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		クロム酸 〇k g (六価クロム 〇%含有) シアン化ナトリウム 〇k g			
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	六価クロム化合物	5	7		
	シアン化合物	5	10		
汚水等の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		7	15		
その他参考となるべき事項		有害物質(六価クロム化合物、シアン化合物)を使用			

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙 3

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号		No 1 (工程排水処理施設)							
処理施設設置場所		別添〇のとおり							
設置年月日		年 月 日				年 月 日			
工事着手予定年月日		〇〇年 〇〇月 〇〇日				年 月 日			
工事完成予定年月日		〇〇年 〇〇月 〇〇日				年 月 日			
使用開始予定年月日		〇〇年 〇〇月 〇〇日				年 月 日			
種類及び型式		〇〇社製××型排水処理施設							
構造		FRP、鋼鉄、コンクリート製							
主要寸法		別添〇のとおり							
能力		15m ³ /日							
処理の方式		還元、アルカリ塩素法、中和、凝集沈殿、活性炭吸着							
処理の系統		別添〇のとおり							
集水及び導水の方法		別添〇のとおり							
使用時間間隔		連続使用							
1日当たりの使用時間		24時間							
使用の季節変動		なし							
消耗資材の 1日当たりの 用途別使用量		亜硫酸ナトリウム 〇kg 次亜塩素酸ナトリウム 〇kg 水酸化ナトリウム 〇kg 硫酸 〇kg 高分子凝集剤 〇kg							
汚水等の 汚染状態 及び 量	種類・項目	通 常		最 大		通 常		最 大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	六価クロム化合物 シアン化合物	5 5	不検出 不検出	7 10	不検出 不検出				
	量 (m ³ / 日)	7	7	15	15				
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法		汚泥〇t/月（脱水処理後、業者委託処理（〇〇株））							
排出水の排出方法		No 1 排水口→〇〇川 (別添〇のとおり)							
その他参考となるべき事項									

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		No 1排水口		No 2排水口	
排水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	六価クロム化合物	不検出	不検出		
	シアン化合物	不検出	不検出		
排水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		1 2	2 5		
その他参考となるべき事項				No 2排水口は雨水排水のみ	

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統

用水及び排水の系統	<div><div><div>地下水 (15m³／日)</div><div>亜鉛溶融めっき施設 (15m³／日)</div><div>排水処理施設 (15m³／日)</div><div>排水口 No1 (25m³／日)</div></div><div><div>上水道 (10m³／日)</div><div>生活排水（合併処理 浄化槽(10m³／日))</div></div><div><div>雨水</div><div>排水口 No2</div></div></div>		
	用途	使用水	用水使用量（m ³ ／日）
用途別 用水量	工程水	地下水	通常 7 最大 15
	生活用水	上水道	通常 5 最大 10